

## 新代表からのご挨拶

いつも弊社の事業にご支援、ご協力をいただき、心より深い感謝を申し上げます。

「地球温暖化の防止」「エネルギーの地産地消」を目的に、2004年の創業以来、多くの皆様のお力添えをいただくことで、長野県飯田市を中心とした地域に根ざしたエネルギー事業を展開してまいりました。

この度は別紙にてご報告したような前代表 原亮弘氏の引責辞任という事態となり、ご迷惑とご心配をおかけすることを大変申し訳なく思っております。前代表 原亮弘氏の掲げた理念に共感して仕事をしてきたスタッフ、後を引き継ぐ者としても当初は非常に当惑し、新たな体制を整えて継続するという決断をするまでに時間を要したのが正直なところですが、おひさま進歩社に集ったスタッフ達は、自然エネルギーを普及することを大きな理念として、その実現ができる場所として自らの選択でやってきた者ばかりです。今回の決断をするには各人が大いに悩みましたが、活動の原点に立ち返り、自分たちが実現したかったものは何だったのか問い直す中で、皆様からご支援、ご協力いただいた地域エネルギー事業を継続発展させることが、最も大事なことで考えました。そして、スタッフ全員が力を合わせるとともに、菅沼と蓬田の二人が代表取締役として体制再建の重責を担うことを決意致しました。

今夏の猛暑にも感じますとおり、地球温暖化や気候変動はますます重大な危機となっていますし、一方で過疎化が進む地方においては、地域内での経済循環の向上は重要な課題です。地域に根ざした自然エネルギー事業は、そのどちらの課題にも同時に応えることができ、子供たち孫たちへの持続可能な環境を引き継ぐための最大のツールです。

これまでソーラーパネルの設置という形で活用してきた「おひさま」の恵みに加え、川や森、風などの恵みも取り入れて持続可能なエネルギーを地域で作りに出し、それを地域新電力として地域内で使うことを私達は進めていきます。

2004年の創業からこれまでは「屋根貸し太陽光発電」を目玉とする創業第一期でしたが、これからは、多様なエネルギーを組み合わせた「創エネ、省エネ、小売をつなげた地域エネルギー経済循環」を実現する創業第二期へと、事業を飛躍させていく所存です。

急な代表交代のお知らせにてご心配をおかけすることが多々あると存じますが、これを体制強化のよい機会と捉え、持続可能な未来を実現するため、新しい代表二人を先頭にスタッフ一同で力を合わせて精進してまいりますので、これからも変わらぬご理解、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成 30 年 8 月 29 日

おひさま進歩エネルギー株式会社

代表取締役社長 菅沼利和

代表取締役専務 蓬田裕一

## 新体制役員のご紹介

### ●代表取締役社長 菅沼利和

・長野県飯田市出身、62 才

・長野県飯田市役所にて 35 年勤務。観光振興や林業政策など幅広く経験。市役所時代から、おひさま進歩社、おひさまファンドの立ち上げをそばで見守るとともに、自治振興センター長の際には、おひさまファンドに地域住民組織が出資を行うための合意形成を支援した経験からおひさま社の理念に共感し、市役所を早期退職して 2014 年におひさま進歩社へ入社。これまで、おひさま進歩社の総務部長、おひさまエネルギーファンド社のコンプライアンス責任者を務めてきました。これまで培った飯田市に根ざした経験やつながりを元に、代表取締役社長として新たな体制づくりを主導して進めます。

### ●代表取締役専務 蓬田裕一

・埼玉県さいたま市出身、40 才

・茨城県つくば市にて自治体職員として 11 年間、主に環境や農業、観光分野を中心にまちづくりに関わる。東日本大震災の原発事故を契機におひさま進歩社で働くために飯田市へ移住し、自然エネルギーを活かした地域づくりとして、太陽光発電所建設のプロジェクトマネージャー業務を中心に、おひさま進歩社の執行役員、おひさまエネルギーファンド社のコンプライアンス担当をしてきました。昨年訪問したドイツ・シェーナウ電力などの構想を飯田でも実現するため、小水力発電の事業開発を中心に、代表取締役専務としてこれからの創業第二期の新規事業づくりを進めます。

※代表取締役を二名とし、地域に根ざした体制強化を菅沼、新たなエネルギー事業開発を蓬田とで分担します。

●取締役 谷口彰

・愛知県犬山市出身、38才

・日本ガイシ株式会社勤務の後、2008年から入社。ファンドの企画統括を行う。愛知県犬山市の犬山 ai エネルギー株式会社で代表取締役を務め、同名古屋市のおひさま自然エネルギー株式会社で取締役を兼務。その他、各地の環境 NPO 法人に所属して南信州に限らず地域エネルギー事業の立ち上げ支援に関わっている。京都大学 諸富徹 教授監修『エネルギーの世界を変える。22 人の仕事』、水上貴央 弁護士監修『再生可能エネルギー開発・運用にかかわる関連法規と実務ハンドブック』等で執筆。ファンド事業の中核を担ってきた経験を活かし、他地域とも連携した新たな事業構築を行います。

●取締役 上沼俊彦

・長野県飯田市出身、64才

・地元の飯田信用金庫にて勤務し、代表理事を務めた後、2017年に退職。同年から NPO しんきん南信州地域研究所の主任研究員を務めている。信用金庫在職中から自然エネルギー事業への関わりを持ち、飯田市地域公共再生可能エネルギー導入審査会委員として、当社に限らず飯田地域での太陽光発電や小水力発電等のエネルギー事業について広い知見とネットワークを持っている。社外取締役として、内部体制への牽制を働かすとともに、地域内の他事業者との連携など、新事業の展開にも助言を行います。

●監査役 小林和博

・長野県飯田市出身、64才

・小林和博事務所として、飯田市にて税理士事務所を経営し、地域内企業の税理士事務をサポートしてきた。企業の税理士事務だけでなく、地域の自治組織の会計監査も行い、地域密着の税理業務を行っている。関東信越税理士会長野連合会の専務理事も務める。おひさま進歩エネルギー株式会社をはじめ、おひさまファンド関係各社の会計について、日常の税理業務の受託者ではない外部の視点から監査します。